チャート図

■ブレーキシーケンス機能

●特長

・メカブレーキ開・閉時におけるモータの動作設定を行います。また、メカブレーキの動作タイミング信号をインバータから出力させます。
・起動/停止と、ブレーキ開/閉の受け渡し時にのみサーボロック動作をはさむことでブレーキの磨耗を抑えます。

●用途

昇降運転の起動・停止時の落下防止など、メカブレーキを使用する用途

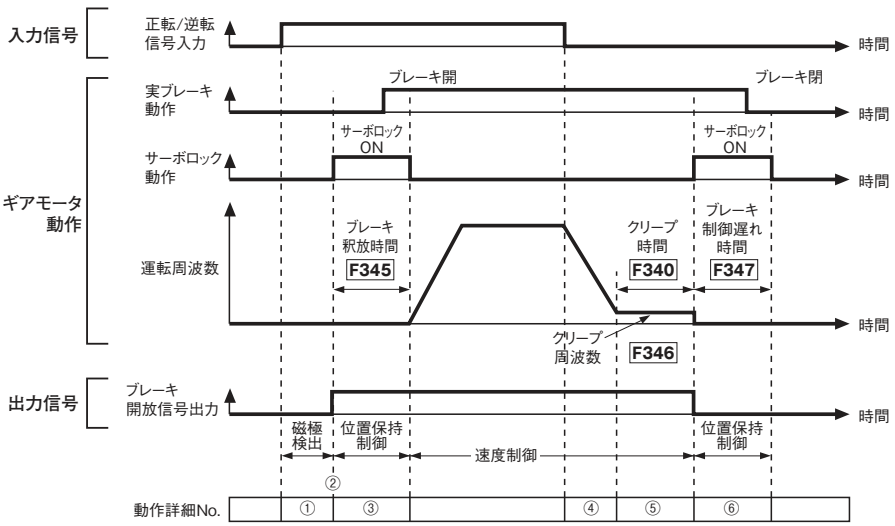
●パラメータ設定

No.	機能	単位	調整範囲	標準出荷値	備　考
F341	ブレーキ機能モード選択	—	0：無効 1、2：ー 3：有効	0	3：有効を設定時、簡易サーボロック機能は使用できなくなります。
F345	ブレーキ釈放時間	sec	0.00～10.00	0.5	サーボロック動作時間。 ブレーキ開放遅れ時間に合うように設定します。
F340	クリープ時間	sec	0.00～10.00	0.00	
F346	クリープ周波数	Hz	**F240**～20	3	
F347	ブレーキ制動遅れ時間	sec	0.00～10.00	0.3	サーボロック動作時間。 ブレーキ制動遅れ時間に合うように設定します。

●出力端子機能

No.	機能	動作
68	ブレーキ開放信号	ON：正転/逆転運転指令ONして、磁極検出終了後、サーボロック開始と同時にON OFF：正転/逆転運転指令OFFし、モータが減速して、 **F340**：クリープ時間後サーボロック開始と同時にOFF
69	ブレーキ開放信号（反転）	

●動作詳細

①正転/逆転運転指令がONし、磁極検出（約0.15秒）終了後にサーボロック開始
②サーボロック開始と同時にブレーキ開放信号ON
③**F345**で設定したブレーキ釈放時間経過後、サーボロックを解除し、モータが駆動
④正転/逆転運転指令がOFFし、運転周波数が**F346**で設定したクリープ周波数まで下がる
⑤クリープ周波数でモータが駆動し、**F340**で設定したクリープ時間経過後にサーボロック開始
⑥サーボロック開始と同時にブレーキ開放信号がOFFし、**F347**で設定したブレーキ制動遅れ時間経過後にサーボロック解除

注1. 出力端子機能「ブレーキ開放信号」は、**F341**=3（有効）にしないと出力しません。
注2. 標準出荷設定で、出力端子OUTにブレーキ開放信号（No.68）が割付られています。